

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	小中学校校舎屋上・外壁修繕事業			事業番号	10-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	谷亀 博久	教育総務課	熊澤 信一	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	5	子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる	
		施策	10	安全で快適な教育環境の整備	
予算事業名	小学校施設維持管理費 中学校施設維持管理費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成28年度以前	～	終了年度	
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	伊勢原市第2期教育振興基本計画 伊勢原市小中学校施設保全計画			計画期間	平成30年度から令和4年度 平成25年度から令和4年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	小中学校校舎は、建築後30年以上経過した施設が3/4を占め、老朽化が進んでいるため、雨漏りによる構造体の劣化や外壁材の落下等が懸念されています。				
目的 (何をどうしたいのか)	屋上防水や外壁の修繕を計画的に実施し、安全で快適な教育環境の確保に取り組みます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	児童生徒をはじめとする学校を使用する全ての人				
事業内容 (手段、手法など)	小中学校校舎の屋上防水や外壁の老朽化に伴う点検及び必要な修繕工事を実施し、校舎等建物の劣化による影響を抑えます。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	校舎等維持管理	点検・修繕検討	点検・修繕検討	点検・修繕検討	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	屋上防水・外壁修繕の実施数	22棟 (平成29年度)	22棟	22棟	22棟



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	昨年度に引き続き、施設の安全点検を実施し、必要に応じて局所的な修繕を行っていきます。				
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目		年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	校舎等維持管理		点検・修繕検討	点検・修繕検討	
実施した取組の内容	施設の安全点検を実施し、必要に応じて局所的な修繕を行いました。				
目標の達成状況	【指標名】		年度		
	【現状値】		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	屋上防水・外壁修繕の実施数		22棟 (平成29年度)	22棟	22棟

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)		0		千円		0		千円		0		千円		
	内訳	国県支出金 ①		0		千円		0		千円		0		千円	
		地方債 ②		0		千円		0		千円		0		千円	
		その他特財 ③		0		千円		0		千円		0		千円	
		一般財源 (a)-①-②-③		0		千円		0		千円		0		千円	
	国県支出金の内容														
	その他特財の内容	受益者負担		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				前回の改定時期							
		その他													
	人件費	正規職員		0.1	人	851	千円	0.1	人	870	千円	0	人	0	千円
		その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)		0.1	人	851	千円	0.1	人	870	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)				851	千円			870	千円			0	千円	
	単位当たりコスト	対象数	定義	小中学校14校の点検・修繕検討				単位	小中学校14校の点検・修繕検討				単位		
			対象数	14				校	14				校		
総事業費 / 対象数				60,786	円			62,143	円			円			

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	校舎及び体育館トイレの洋式化及びリニューアルを優先的に実施していく中、施設の安全点検を実施し、局所的な修繕を実施しています。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市事業内容等	県内各市においても学校施設の老朽化が進んでおり、計画的な保全に取り組んでいます。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	点検により一定程度の維持管理を実施していますが、学校施設は築40年以上の建物が6割以上となっており、老朽化が進んでいるものの、事後保全的に修繕を繰り返している状況です。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左記判断理由	安全で快適な学校環境を維持していくため、今後策定する長寿命化計画に基づき、計画的に施設の保全・更新を行っていく必要があります。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	施設の多くが建築から相当年数を経過している中、今後も安全に施設を使用するためには、構造躯体の維持保全のみならず、外部建具や内部改修、電気や給排水設備も合わせた改修が必要となっており、計画的に実施していく必要があります。
令和2年度の取組方針		今後、計画的に保全を行っていくため、令和2年度から3年度にかけて、構造躯体とともに、内装や設備等の老朽化状況を調査し、施設改修の優先度を踏まえ、中長期の保全計画を策定します。		
所管部長による総評		学校施設は建物の老朽化とともに、学習内容の変化や学習形態の多様化、ICT化、バリアフリー化など、社会環境の変化に伴い、求められる機能が多様化しています。構造躯体の保全とともに、これらの機能性への対応を図るため、計画的に保全を進める必要があります。		